

文字コードにおいて JIS コードとは、下記の意味で使われる言葉です。

- ・ JIS で定められている漢字コードのビット組合せ。例えば漢字「亜」に対して、16 進表記で 3021 となるビット組合せ。特に SJIS や EUC との対比
- ・ 上の意味の JIS コードを 1 バイトコードと併用する符号化方式、例えば ISO-2022-JP

元々日本における漢字の符号化には JIS X 0208 のオリジナルの 7 ビットのビット組合せと、その MSB を 1 にした 8 ビットの EUC、さらには計算によって変形した Shift JIS とがありました。これらのうち、オリジナルの 7 ビットの 2 バイトのビット組合せを「JIS コード」と称することがしばしばあります。辞典類にも区点番号とともに載っていることがあります。

また、JIS X 0208 と ASCII/JIS X 0201 とを併用する符号化方式としての ISO-2022-JP (古くは JUNET コード) が JIS コードと呼ばれることもあります。上の意味の「JIS コード」が漢字の符号化に使われているために拡張された用法と言えます。

関連項目

- ・ JIS X 0208
- ・ JIS X 0213
- ・ ISO-2022-JP
- ・ ISO-2022-JP-2004
- ・ JIS 漢字